

ひろしま未来教師セミナー(セミナーII)

研修日時	令和8年1月10日(土) 9:00~12:00
会場	広島市教育センター
主な内容	○ 生徒指導の基礎 ○ いじめや不登校への適切な対応 ○ 目指す教師像のイメージ化



ひろしま未来教師セミナー(セミナーII)の第7回目の講座を広島市教育センターで実施しました。

今回のセミナーでは、生徒指導の基礎・いじめや不登校への適切な対応について、講義・演習を行いました。

演習では、受講者が3~4人のグループに分かれて、架空のいじめ事例や不登校児童・生徒に対する支援方法について、グループ内で意見交流しながら、「自分が担任ならどのように対応するか」という視点で考えました。

また、広島市立学校から小学校教諭1名・中学校教諭1名を講師としてお招きして、ふれあいひろばでの児童・生徒支援やオンライン授業について、各所属校での取組を紹介していただきました。

受講者の声

・生徒指導は「生徒を正す」というようなイメージだったが、「生徒自身が自分らしく生きることができるよう支えること」が大切だと新たに分かりました。また、生徒指導を行う上で、生徒を理解することが、生徒との信頼関係を築くことに繋がるということについても、理解を深めることができました。

・今回のセミナーで、法で定められているいじめの範囲について学ぶことができました。その定義を理解したうえで、教師としてアンテナを常に張りながら、こどもたちの様子を見ていくことが大切だと思いました。

・いじめや不登校への対応について、教職員間での情報共有がとても大切だと思いました。些細なことでも教職員で情報共有することで、自分の視点からは見えなかった部分が見えることがあるということが分かりました。